

庄内町議会議員・最上川土地改良区理事に現場説明

最上川下流左岸農業水利事業所では、10月28日(水)に受益地である庄内町の町議会議員並びに最上川土地改良区理事に対して当事業の現場説明を実施しました。

今回の現場説明は、最上川土地改良区が主催する土地改良事業に関する庄内町議会議員との意見交換会の一環で、現場視察として実施したものであり、毒蛇排水機場の工事現場を実際に見て頂くことで事業への理解を深めてもらうことを目的に実施したものです。当日は総勢40名に現場の施工状況を視察して頂きました。

毒蛇排水機場の工事は令和元年8月より着手。旧機場に隣接し限られたスペースでの工事実施で、現在二年目。視察時は鋼矢板土留締切した中で排水機場底版コンクリート打設後で側壁部に型枠が設置された状況でした。



事業所職員による現場説明の様子

説明は、当地区の受益面積は5,921haであるが、山地等の排水流域を含めると約1万haの排水を対象に6カ所の排水機場等により排水を行う事業計画であることや、新・旧排水機場の能力等の概要、排水方法について説明し、参加者からは「実際の現場を見て規模感が感じられた」、「先般の7月豪雨の場合でも吐出できるのか」等の質問・意見を頂きました。

当事業所としては、今後もより多くの方に事業に対する関心を持っていただき、理解を深めてもらえるよう活動してまいりたいと考えています。

【毒蛇排水機場の概要】

項 目	現 況	計 画
排水量	9.33m ³ /s	12.90m ³ /s (約 1.4 倍)
排水機	横軸軸流 φ1200×3 台	横軸斜流 φ1200×4 台
発動機	ディーゼルエンジン×3 台	ディーゼルエンジン×4 台



既設毒蛇排水機場全景



既設排水機場ポンプ設備